

# 平成28年度災害廃棄物処理計画策定モデル事業(千葉県柏市)

- 柏市の庁内関係各課や広域処理組合を含む関係者の業務を、「庁内で対応すべき事項」と「庁外の関係者も含めて対応すべき事項」として整理
- 災害廃棄物処理に係る円滑な初動対応の実現のため、意見交換会を通じ関係者間での共通認識を醸成
- モデル事業の成果を活用し、次年度以降、災害廃棄物処理計画を策定予定

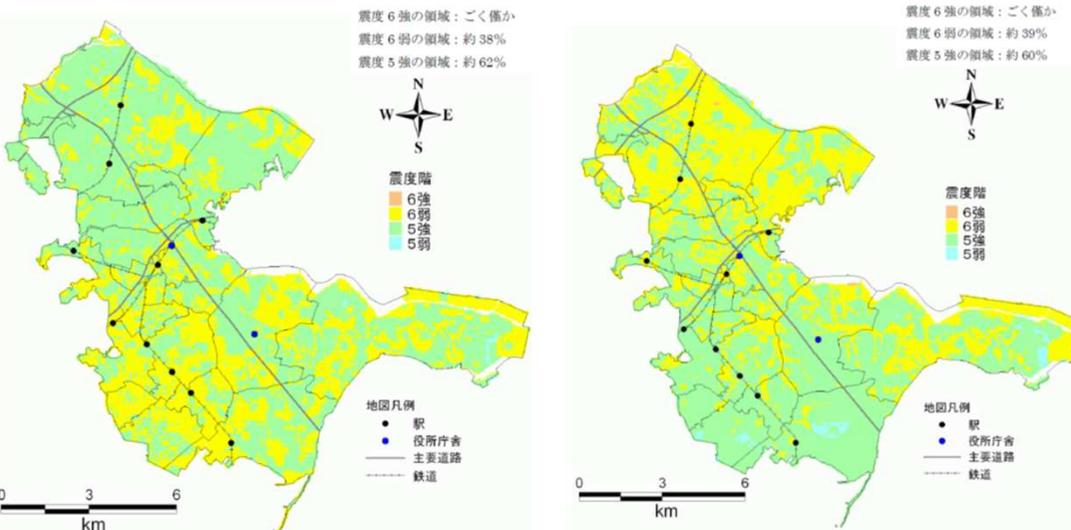
## 災害廃棄物処理にあたっての本地域の課題

- 市内にある柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合の処理施設の災害時の利用について、詳細な協議・調整をしていないことから、災害時の廃棄物処理に係る初動対応に遅れが生じる可能性が想定される
- 「柏市地域防災計画」、「環境部災害時活動マニュアル」等で庁内各組織の大まかな役割までは整理されているものの、各組織が担当する業務の所掌範囲等は明確になっていない

## 被害想定

- 想定災害:東京湾北部地震 ・ 茨城県南部地震
- 柏市の震度:5弱～6強

(出典:柏市被害想定調査報告書 平成18年3月)



柏市の震度分布図(左:東京湾北部地震、右:茨城県南部地震)

## モデル事業の概要

### 1. 対象とする災害の設定

- “比較的規模が小さく、発生頻度が高い災害”においても迅速・円滑に初動対応に着手することができるよう、「柏市地域防災計画」を踏まえ、本検討で対象とする災害を設定

### 2. 被害の様相の把握(基礎情報の整理)

- 災害廃棄物、片付ごみ、し尿等の発生量や仮置場の必要面積を試算

### 3. 災害廃棄物に関する業務と本市で想定される課題の抽出・整理

- 災害廃棄物対策指針や本市における被害の様相、過去の災害事例等を参考として、特に初動対応に着目、“災害廃棄物に関する業務”を整理
- 業務毎に想定される課題と関係者を抽出・整理

### 4. 課題解決のための対応方針(案)の検討

- 庁内で対応すべき事項と、庁外の関係者も交えて対応すべき事項とに分けて整理

### 5. 庁内関係各課、環境衛生組合、関係行政機関(県、環境省)との意見交換会の開催

- 出席メンバー:柏市(環境部内全課(6課)、資産管理課、防災安全課、道路保全課、公園管理課)、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合(クリーンセンターしらさぎ、アクアセンターあじさい)、関東地方環境事務所

# 本モデル事業の主な内容

## 1. 災害廃棄物に関する業務の整理

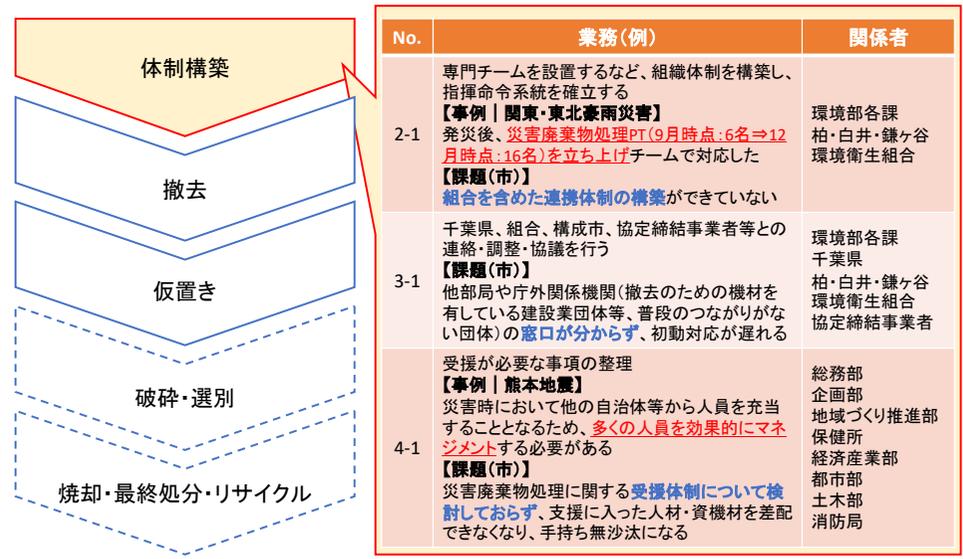
- 災害廃棄物対策指針の「発災後の各主体の行動」に基づき、災害廃棄物に関する業務を整理
- 対象とする災害は“比較的規模が小さく、発生頻度が高い災害”を設定
  - ➡被害が最大となる地震を想定し、思考停止となることを防止

大項目	内容
人命救助	➢ 人命救助や通行確保のための道路啓開を行う
指揮命令	➢ 専門チームを設置するなど組織体制を構築し、指揮命令システムを確立する ➢ 処理の進捗管理を行う
連絡・調整・協議	➢ 千葉県、組合、構成市、協定締結事業者等と連絡・調整・協議を行う
協力体制	➢ 受援が必要な事項を整理する
財務	➢ 災害廃棄物処理に必要な予算の確保、説明資料の作成、議会対応等を行う ➢ 災害査定や補助金対応に備えて予算管理を行う ➢ 災害廃棄物処理事業に係る業務発注、業務管理等を行う
情報収集	➢ 家屋、処理施設、仮置場候補地、道路状況等の被害状況等に関する情報収集を行う
生活ごみ 避難所ごみ	➢ 市内施設、組合施設と連絡を取り、稼働状況を確認する ➢ 片付けごみ(粗大ごみ)等の保管場所を確保する ➢ 避難所等で発生する感染性廃棄物に関して、分別区分を周知し、適切な処理を行う
し尿	➢ 避難所等に設置するための仮設トイレを確保する ➢ 市内の収集運搬事業者に対して協力要請を行い、必要な車両を確保する ➢ 市内施設(山高野浄化センター)、組合の処理施設等でし尿の処理を行う
災害廃棄物	➢ 設置することを想定した仮置場候補地の状況を確認し、開設できる状況であれば、仮置場として整備する ➢ ごみの搬入者への分別指導や荷下ろし場所の指示、その他仮置場全体の管理・運営を行う ➢ 災害査定や補助金対応に備えて処理の状況を記録する

## 2. 体制構築に係る課題の整理

特に初動対応に着目し、市の実態や過去の災害事例を基に、業務毎に想定される課題と関係者を整理

- ➡災害廃棄物に関する業務の一覧、想定される課題、関係者を整理したことで、**災害廃棄物処理関係者がどの業務に関与するのかイメージが容易になった**



## 3. 庁内で取り組むべき事項の整理

柏市として取り組むべき事項を「①庁内組織の役割分担の明確化」、「②災害廃棄物処理に必要な情報等の整理」、「③職員の災害廃棄物処理に係る知識・ノウハウの集積」に区分し、関係部局も合わせて整理

② 災害廃棄物処理に必要な情報等の整理(例)	関係者(案)
➢ 財務、会計に係る業務経験者、土木工事等の設計・積算等が行える職員等のリストアップ	各部
➢ 災害廃棄物処理事業の補助制度における手続き等の整理	環境部
➢ 仮置場候補地のリストアップ、利用までに必要な手続き、利用条件、調整事項等の整理	環境部 総務部 都市部
➢ 災害時のごみの排出方法(分別区分、優先順位、排出場所等)の検討	環境部
➢ 市内のごみの集積所場所、平時の収集ルート、収集エリア等の情報整理	環境部
➢ 市内施設の余力の把握、処理可能量の算定式の確認	環境部
➢ 有害廃棄物や危険物の市内の発生源、有害廃棄物や危険物の保管方法、処理先等の情報の整理	環境部 消防局 等

## 4. 庁外関係者を交えて対応すべき事項の整理

関係者を交えて対応すべき事項を「①各主体との連携」、「②災害時対応の協議」に区分し、関係者も合わせて整理

① 各主体との連携	関係者(案)
➢ 千葉県、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合、構成市、協定締結事業者、関係事業者団体等の窓口の整理 (顔の見える関係の構築(定期的な情報交換等))	柏市環境部 千葉県 柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合 白井市 鎌ヶ谷市 協定締結事業者 関係事業者団体
➢ 災害時の収集運搬に係る対応(収集する地域、ごみ種等)	柏市環境部 収集運搬業者 協定締結事業者
➢ 市外(県外(遠方))自治体との協定締結	柏市総務部 柏市環境部
➢ 車両・資機材等の調達先の連絡窓口・契約手順の整理	等 柏市総務部 柏市土木部 柏市環境部

## 5. 災害廃棄物処理に係る関係者による意見交換会

- 前述の整理を踏まえ、柏市の庁内関係各課や広域処理組合、神奈川県による意見交換会を実施
- 意見交換会では廃棄物政策課(災害廃棄物処理計画の策定担当)が**災害廃棄物対策の検討を主導することを意思表示**
  - ➡主導の意思を明確にしたことより、**各部局・関係行政機関の協力姿勢も前向きとなった**